

シイタケオオヒロズコガ類の防除方法

きのこグループ

1. 研究の背景 (14ポイント、MSゴシック太字)

シイタケの原木栽培（乾、生）において、ほだ木や子実体の食害、乾シイタケ製品での異物混入などを引き起こすことから、防除技術の開発が求められていた。

2. 研究成果の内容・普及のポイント (14ポイント、MSゴシック太字)

生態を明らかにするとともに、成虫は近紫外線で誘引できることを明らかにし、市販の捕虫器を用いた防除技術を確立した。

【防除方法】

1. ほだ場湿度（土壌含水率）の低下

- 排水溝の設置やほだ場通風の改善

2. LEDキャッチャーによる防除

- シイタケ発生2年目のほだ木を被覆し、その中にLEDキャッチャーを設置
- 雨よけ付き、光量3倍のLEDキャッチャーを使用
- 設置高は50cm前後とする
- 設置台数は、ほだ木50～60本に1台とする
- 被覆時期は、羽化ピークの6～7月の夜間とする



3. 期待される効果 (14ポイント、MSゴシック太字)

- 害虫の防除による生産の安定
- 異物混入事例の減少

4. 担当機関連絡先 (14ポイント、MSゴシック太字)

林業研究部きのこグループ きのこチーム

電話：0974-22-4236

豊後大野市三重町赤嶺2369